



野生植物研究所だより



～ 帰化植物 ～

● 帰化植物ってどんな植物？ ●

外国原産の植物で、人が観賞用や薬用などのために日本に持ち込み栽培したり、家畜などの飼料として持ち込んだものにいろいろな種類の種子が入っていたものなどが、野生化して各地に広まったものを帰化植物といいます。道端や荒地、畑などに普通に見られるシロツメクサやムラサキツメクサ、アカザ、マメグンバイナズナ、ハルザキヤマガラシ、メマツヨイグサ、オオマツヨイグサ、オオイヌノフグリ、ヘラオオバコ、アメリカセンダングサ、ヒメジョオン、ハルジオン、セイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポなどは、みな帰化植物です。



ムラサキツメクサ



ハルザキヤマガラシ



オオマツヨイグサ



オオイヌノフグリ



ハルジオン



セイタカアワダチソウ

● ヒガンバナって帰化植物？ ●

ヒガンバナは、仏教伝来とともに中国大陸から渡来したとされています。古代に入ってきて、記録の明らかでないものは、史前帰化植物といわれています。



ヒガンバナ

● 新しい帰化植物にどんなのがあるの？ ●

1年間に、新しく見つかった帰化植物が何十種類と報告されています。宮城県で、近年確認されたものに、クスダマツメクサやオッタチカタバミ、ミチタネツケバナなどがあります。



クスダマツメクサ



オッタチカタバミ



ミチタネツケバナ